



養父市立八鹿小学校 学校便り

令和6年3月19日発行 第24号

【八鹿小学校 HP】 <http://yabuboard.ed.jp/youka-es/>

【八鹿っ子ブログ】 <https://youkakocho.fc2.net>



R5 八鹿っ子

～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

ご卒業おめでとうございます

いま わたしの踏みしめる一步は だれか他の人の一步ではない
わたしの足が地上に刻む一步は いつでも わたし自身の一步なのだ

(宮澤章二「自分の一步」より)

令和5年度の八鹿っ子のリーダーとして活躍した6年生38名が、3月21日に、本校150回目の卒業生として門出の日を迎えます。

6年生は1年生から4年生まで2クラスでありながら、5年生に進級する時に1クラスになった学年です。いっしょに勉強をする仲間が、一気に倍になるのですから、心配した子もいたことでしょう。しかし6年生38名は1クラスになることで、さらに様々なつながりを見出し、団結し、ともに力強く歩むことのできる仲間となりました。

「共創」を学年目標に掲げた6年生。互いの違いを受け入れ、相手を尊重する心を持ち、ともに歩んで行こうとする素直で前向きな心をもっていました。「共創」の言葉がぴったりと当てはまる最高学年でした。

「6年生を送る会」での6年生の姿が忘れられません。在校生を見つめる優しいまなざしと、涙をこらえてうるんだ瞳。在校生のあたたかい感謝の気持ちを心から受け入れ、それに応えて、自ら会を盛り上げようとする姿。6年生が、優しさやさわやかさをもって全校生を引っ張り、今年1年、まさに「よろこびあふれる八鹿小学校」の象徴でいてくれたことを実感した場面でした。

冒頭の言葉は「立志の書収納式」で、6年生に示した詩の一節です。東井義雄先生の「自分は自分を創っていく責任者」の言葉と深く関わっています。今、踏み出すこの一步が創り出していく道のりは、決して途切れることなく、一人一人の未来の自分につながっています。八鹿小学校の卒業生としての誇りを持ち、「自分は自分を創っていく責任者」として、力強く歩いていくことを心から願っています。ご卒業、おめでとうございます。



卒業式練習

学校運営へのご協力、ありがとうございました

創立150周年となった今年度の教育活動が終わります。本校では、今年度も教育スローガン「よろこびが生まれる学校づくり」を推進してきました。「げに生々と常に明るし」「げに揚々と常に新し」の校歌の一節のごとく、日々、子どもたちが生き生きと、さわやかに生活してくれたことをうれしく思います。子どもたちの1年間の伸び幅は、驚くべきものがあります。ひとりひとり、テンポや歩幅の違いはあるにせよ、どの子もまっすぐに伸びてきてくれました。これも各ご家庭の適切な関わりと励ましがあればこそです。

学年が一つ終わるこの時期に、ご家庭でも、この1年間の成長を自覚させ、納得させる時間をもっていただくことが、次の学年でのがんばりにつながるものと考えます。

保護者の皆様には、今年度、学校運営への多大なるご支援とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

■ 「ひょうご地域安全まちづくり活動賞」の受賞について

「八鹿小学校防犯グループ」の一員として、毎日、八鹿っ子の登下校を見守ってくださっている扇町の藤田達雄さんが、「ひょうご地域安全まちづくり活動賞」を受賞されました。藤田さんは12年間に渡っておよそ1.3kmの通学路を子どもたちといっしょに歩くとともに、学校や関係機関と連携して地域と子どもたちの安全にご尽力いただいています。藤田さん、おめでとうございます。

そして、今年度も、子どもたちの安全な登下校を支えてくださった地域の皆様、ありがとうございました。



受賞の盾を手にした藤田さん

令和6年度4月の主な行事予定

- 8日（月） 離着任式 始業式 2～5年生一斉下校 11:30
入学式準備（6年生弁当 15:00 下校）
- 9日（火） 入学式 一斉下校 11:30
- 10日（水） 3時間授業 一斉下校 11:30
- 11日（木） 2年生以上給食開始
- 15日（月） 登校指導 1年給食開始 委員会活動①
- 18日（木） 尿検査1次 6年全国学力・学習状況調査 5年市学力学習状況調査
- 19日（金） 尿検査1次
- 20日（土） 弁当日 授業参観 13:00 学級懇談会 14:00 PTA総会
- 22日（月） 振替休業日
- 23日（火） 6年全国学力・学習状況調査質問紙回答日 保護者面談 13:30 一斉下校 11:30
- 24日（水） 1・4年心電図検査 8:50～10:20
- 29日（月） 昭和の日
- 30日（火） 一斉下校 13:30（*教職員「教科担当者会」のため）

しきこうえん こうきせつきん 「志期高遠 功貴切近」

- 「3月の草庵先生の教え」です。6年生が卒業をしますが、旅立ちの時にふさわしい言葉です。“志は高遠を期し、功は切近を尊ぶ”と読みます。「目標は高く持ち、成し遂げるために身近なことをこつこつと積み上げていくことが大切である。」という意味です。草庵先生の教えの中でも「慎独」と並んで最も有名だと言ってもいいかもしれません。
- この言葉を聞く時、いつも私は二人の偉大な野球選手のことが思い浮かびます。一人はイチロー選手。年間世界最多安打を達成した時、彼はこんなことを言っています。「小さなことを重ねることが、とんでもないところにたどり着く、たったひとつの道だということです」。
- もう一人は同じくメジャーリーグで活躍した松井秀喜選手。彼が座右の銘にしていたのが、メジャーリーグに挑戦するときに、お父さんの昌雄さんから贈られた言葉です。「夢は大空に、努力は足もとに」。
- 二人の偉大なメジャーリーガーを支えた考え方のエッセンスは、草庵先生の教えと見事につながっています。